

平成28年度 「大阪市中学校3年生統一テスト」における 阪南中学校の結果の分析について

大阪市による「大阪市中学校3年生統一テスト」について、平成28年10月6日（木）に、第3学年を対象として実施しました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校がテスト結果やテスト結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、テスト結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

1 テストの目的

- （１）テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成29年度大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- （２）学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

2 テストの対象

- ・ 原則として、大阪市立中学校の第3学年
- ・ 阪南中学校では、第3学年257名

3 テストの内容

- ・ 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科

平成28年度「大阪市中学校3年生統一テスト」検証シート

実施日 平成28年10月6日(木)

学校名	大阪市立阪南中学校
-----	-----------

生徒数(人)	257
--------	-----

平均正答率(点)

	国語	社会	数学	理科	英語
学校	71.1	62.9	68.7	64.0	71.0
大阪市	65.4	54.4	56.0	55.0	61.2

結果の概要

平均正答率は、大阪市の平均正答率より、国語で5.7P、社会で8.5P、数学で12.7P、理科で9.0P、英語で9.8P上回っている。特に数学においては大きく上回っている。

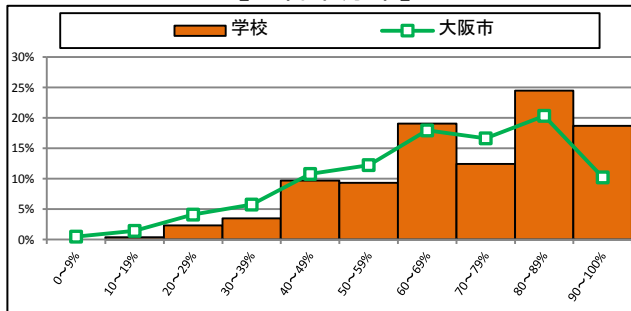
成果と今後取り組むべき課題

- 日々の教育活動において、集団の規律や秩序を身につけられるよう取り組みを進めてきた結果、生徒が落ち着いた状況で学習に取り組み、それが学力の向上にも繋がっている。
- タブレット端末等のICT機器を積極的に授業に取り入れ、生徒が興味・関心を持てるような授業づくりを進める。
- 自分の考えを表現するとき、相手に伝わるよう話したり、書いたりすることができるようになるための一つとして、アクティブラーニングを取り入れた授業を行う。
- 読書習慣の取り組みを充実させる。

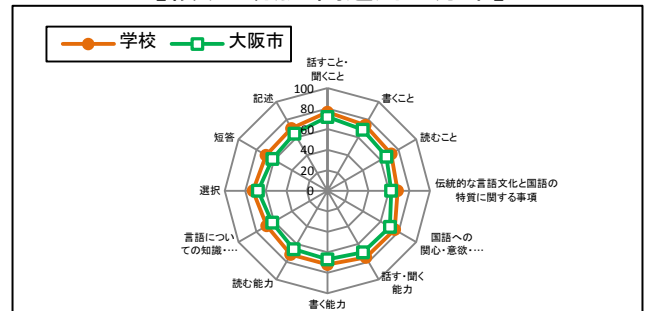
【各教科の正答率分布と領域・観点・問題形式別平均正答率の分布】

【国語】

【正答率分布】

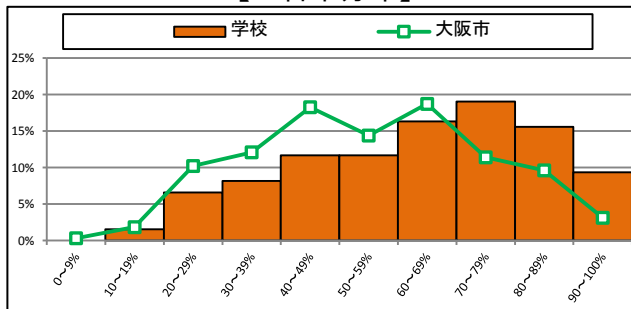


【領域・観点・問題別の分布】

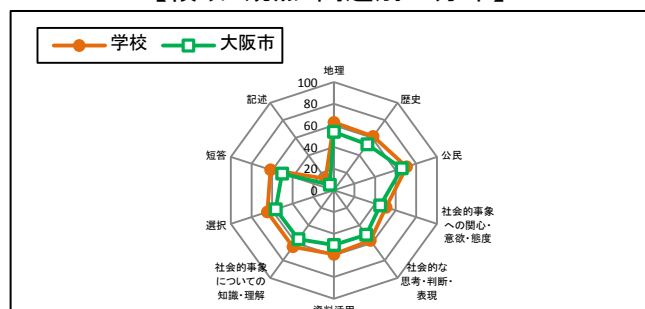


【社会】

【正答率分布】

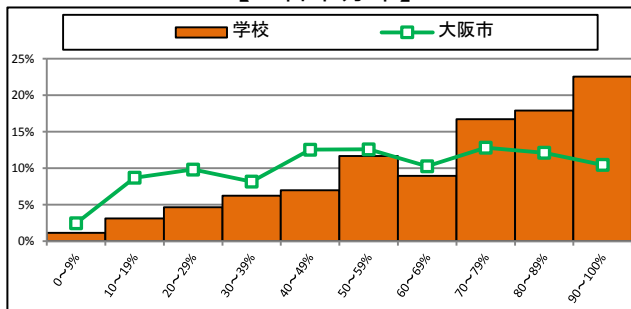


【領域・観点・問題別の分布】

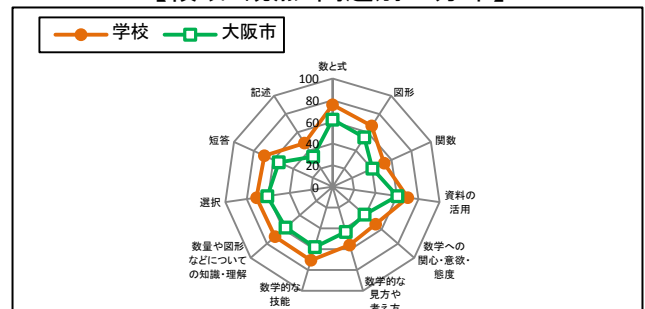


【数学】

【正答率分布】

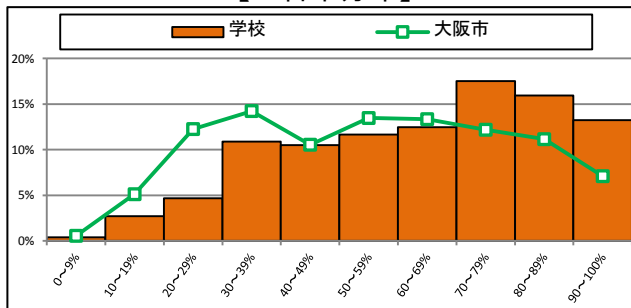


【領域・観点・問題別の分布】

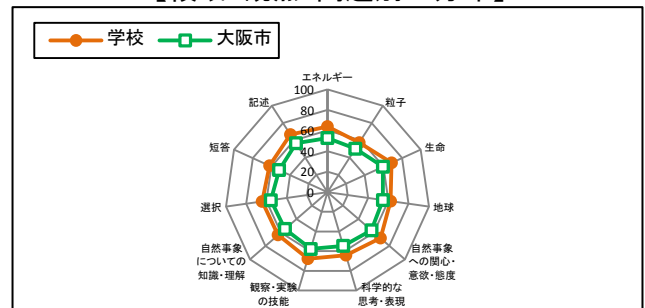


【理科】

【正答率分布】

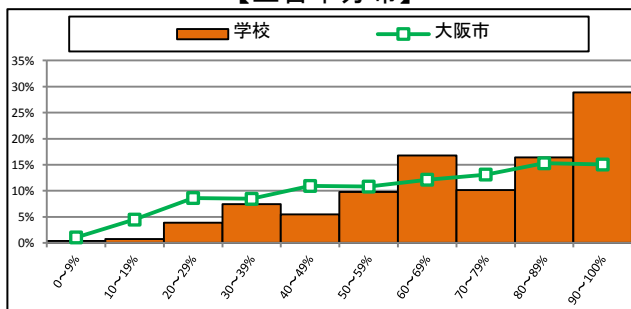


【領域・観点・問題別の分布】



【英語】

【正答率分布】



【領域・観点・問題別の分布】

